

皆さま、こんにちは。編集長の天野恵実子です。

本誌「月刊経理WOMAN」の創刊は1996年4月のことです。以前私は別の出版社で経理・税務の雑誌を編集していたのですが、「経理や税金の記事は難しい！ ビギナーでも理解できるようにやさしく解説できないのかなあ…」と常々思っていました。そこで税務や社会保険についてビギナーの経理・税務・総務担当の方でも理解できるように、できるだけ分かりやすく解説することをコンセプトに創刊したのが「月刊経理WOMAN」です。創刊からあつという間に28年が過ぎましたが、おかげさまで現在、全国4万人の経理総務ご担当者の皆さまにご愛読をいただいています。



月刊経理WOMAN 2025年2月号 にはこんな記事が掲載されています！

「月刊経理WOMAN」2025年2月号の特集企画では、「決算準備&決算対策」を取り上げました。3月決算の会社ではその準備に迫られる時期がやってきました。毎年のこととはいえ**段取りよく準備を進めない**と、**税務申告が期限までに間に合わない**といったことにもなりかねません。また、決算の“着地点”が見えてきた段階で、「黒字予想」の場合は節税策を、「赤字予想」の場合は利益の捻出策を検討する必要があります。そこで**2月号の特集企画では、決算日までにやるべき事前準備から、黒字見込み&赤字見込みのときの税金対策までを多角的に解説しました。**これで決算実務に強くなること間違いなしです！

特集 決算日までにやるべき事前準備から税金対策まで

「決算準備&決算対策」に 強くなる3時間セミナー

経理ご担当の皆さんは、「決算」についてどんなイメージをお持ちでしょうか？ 決算の時期が近づくと「忙しい」とか「大変」というイメージが先行し、決してウキウキするものではないと思います。

しかし、**経理の皆さんが日々積み重ねていることの集大成が「決算」です。経理職を続けていく上では毎年訪れるイベントですから、できるだけ不安なく、なんなら余裕をもって決算期を迎えたいですね。**

本特集では、まず「そもそも決算とは何か」を確認したあと、LESSON1から3に分けて、日々の仕訳入力、決算準備、税金対策についてレクチャーしました。全体を通して読むことで、決算時の勘定科目の残高チェックのポイントや、決算整理における減価償却・実地棚卸・貸倒引当金の洗い替えなど、毎月計上するわけではない特殊な仕訳の計上方法が理解できます。また、利益を抑えたい黒字企業の税金対策と、赤字企業が利益を捻出するための税金対策についても理解が進むはずですよ。

この機会に、ぜひ決算のあれこれをマスターして、ワンランクアップを目指しましょう！

INTRODUCTION まずは決算の意味を正しく理解しておこう！

LESSON 1 決算の第一歩は日々の入力から始まる

LESSON 2 決算準備のスタートは税金対策にあり

LESSON 3 黒字見込み・赤字見込みのときの
税金対策はこうする！

